

氏 名	所 属
蟹澤 宏剛	芝浦工業大学 工学部 教授

■ご意見の内容(1/2)

1. インフラの維持・管理について

○首都高速道をはじめとする大規模更新事業については、事業戦略(どのように運用しながら更新を行っていくか)を明確に示していく必要がある。

○大規模更新で培った技術・ノウハウは、今後諸外国でも必要になってくる。また、今後はこれまで以上に国際的な視点での技術開発が重要と考えている。

2. 首都圏の位置づけについて

○グローバル化の中での日本の位置づけ、首都圏の位置づけをもっと強調する必要がある。

○東京への一極集中問題については、世界他都市の状況を踏まえ、メリ・デメを分析・整理しておく必要がある。

3. 首都圏の人口問題について

○首都圏においても人口減少は避けられないが、地方都市とは異なり、観光などによる海外からの人口流入の増加、すなわち滞在人口の増加が見込まれる。首都圏の人口問題に対しては、性質を正確に捉えて対処していくべきである。

氏 名	所 属
蟹澤 宏剛	芝浦工業大学 工学部 教授

■ご意見の内容(2/2)

4. 担い手の確保・育成について

○担い手確保に向けた育成が極めて重要であり、若者が建設業界に入ってきてやすいような仕組み(工期・価格の適正化、休暇・賃金の確保など)を、官民一体となって整えて行くべきである。また、こうした取り組みを行っている民間企業に対しては、企業利益につながるよう評価していくべきである

○担い手の確保・育成は、「人口減少問題」だけではなく、「インフラの老朽化」とも関連する事項である。

5. 広報活動について

○公共投資への国民の理解が不可欠であり、そのためにも、その意義や効果について一般に分かりやすくPRしていくべきである。

○また、事業等のネーミングも極めて重要であり、特に国民の私生活に関連性が高い事業については、国民の誤解を招かないように慎重に検討すべきである。